



令和7年度 学校経営の目標について

次のとおり坂越中学校の教育方針を決定し、取り組んでまいります。

(校訓)	(めざす生徒像)	(めざす教師像)
希望	・共に伸びる生徒	・感性豊かで創造的な教師
友情	・共に学ぶ生徒	・常に夢と希望を持たせる教師
責任	・共に生きる生徒	・自己研鑽に努め、使命感を自覚する教師



学校経営目標

「志高く、夢に向かって自ら挑戦する生徒の育成」

～さわやかな「あいさつ」、あふれる「笑顔」、響く「歌声」～

基本方針

- (1) 子どもたちが、「笑顔」で登校し、安心して生活できる学校・学級づくりを推進するために日々の「あいさつ」を大切にする。
- (2) 志高く、夢(なりたい自分)に向かって、自律して学び、挑戦する力を養成する。
- (3) 「ノーチャイム」の伝統を継承し、生徒会活動の充実を通して「気づき・考え・行動する」生徒を育成する。

努力目標と実践項目

(1) 確かな学力を育成する。 <知>

- ①「主体的・対話的で深い学び」を求め、生徒の学び合いから共に向上する態度を育てる。
- ②授業研究の充実や授業等相互自由参観を奨励し、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、「わかる授業」の創造をめざし、子どもたちが自律して学習に取り組む態度を養う。
- ③より良い授業づくりを通して、各教科における基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ④家庭学習の定着や提出物等の習慣化を図り、学習規律の確立をめざす。

(2) 豊かな心を育成する。 <徳>

- ①人権尊重の精神の涵養を図り、「自他の人権を守る」意識、意欲、態度を育成する。
- ②「特別の教科 道徳」の研究推進により、「人を思いやる心」「仲間とともにによりよく生きる態度(人との絆)」を育てる。
- ③体験的、実践的活動を通して、自律する心、ルールやきまりを自ら尊重する心を育てる。
- ④赤穂特別支援学校との交流を通して、共に生きる心の教育を推進する。

(3) 健やかな体を育成する。 <体>

- ①全教育活動を通じて体力の向上に努め、心身共に健康な体づくりを推進する。
- ②6校園所での『早寝、早起き、朝ごはん』運動の習慣化を図る。
- ③栄養教諭と連携し、学校全体での食育、健康教育を推進する。

(4) 新たな不登校を生み出さない、生徒に寄り添った支援を推進する。

- ①「生徒指導提要」(文科省 令和4年12月)に沿った日々の指導に務める。
- ②生徒や保護者と積極的に関わり、関係機関と連携し、新たな不登校を生み出さない支援態勢を構築する。

(5) 特別支援教育の充実を推進する。

- ①教育支援委員会の充実を図り、系統立った一貫性のある指導態勢を構築する。特別支援教育指導補助員との連携を図り、組織的な支援を推進する。
- ②インクルーシブ社会の実現へ向け、自立して社会参加できる生徒の育成をめざす。

(6) 魅力ある学校づくり、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。

- ①学校運営協議会(コミュニティ・スクール)とともに、地域に愛される学校運営の充実に努める。
- ②学校便りや各種通信を活用し、地域への積極的な情報提供を通して、特色ある教育活動を進める。
- ③地域体験活動、ボランティア活動等を通じて、地域に貢献できる生徒を育成する。
- ④学校評価や前年度の総括から、PDCAサイクルを活かした学校運営に努める。

(7) 安全安心な学校づくりを進める。

- ①常に危機事象を想定し、教職員間での情報共有に努め、早期発見・対応に取り組む。
- ②地域や関係機関と連携協力し、安全安心な学校づくりに全力で務める。